

## 令和8年度 博士(医学)学位論文審査申請の流れと日程(予定)について

●「学位論文審査内規」と学位論文審査申請書類一式中の「見本」、「学位論文審査申請書類記入に当たっての注意点」をご確認の上、申請書類を作成してください。  
令和6年度より、すべての申請書類を電子データにて医学部学務課大学院担当(mdaigakuin.bm@twmu.ac.jp)へメール添付でご提出いただくこと  
(紙書類の提出は廃止)となりました。

まずは申請の大きな要件となっている「履歴書」「論文目録」「主論文」の3点を期限前に余裕を持ってご提出いただき、学務課による確認を受けられることをおすすめします。

(不備のない)申請書類の 提出期限 上段:甲 下段:乙	大学院委員会 (資格審査) 上段:甲 下段:乙	医学研究科委員会 (第一次審査) 上段:甲 下段:乙	甲は公開発表および第二次 審査期間 乙は公開発表会日～第二次 審査期間	医学研究科委員会 (第二次審査結果確認、 学位授与内定)	対象者
3月19日(木) 2月20日(金)	4月8日(水) 3月11日(水)	4月17日(金) 3月19日(木)	4月17日(金)～4月24日(金)	5月15日(金)	甲・乙
4月17日(金) 3月19日(木)	5月7日(木) 4月8日(水)	5月15日(金) 4月17日(金)	5月15日(金)～5月29日(金)	6月19日(金)	甲・乙
5月15日(金) 4月17日(金)	6月10日(水) 5月7日(木)	6月19日(金) 5月15日(金)	6月19日(金)～6月26日(金)	7月17日(金)	甲・乙
6月19日(金) 5月15日(金)	7月8日(水) 6月10日(水)	7月17日(金) 6月19日(金)	7月17日(金)～7月31日(金)	8月21日(金)	甲・乙
7月17日(金) 6月19日(金)	8月12日(水) 7月8日(水)	8月21日(金) 7月17日(金)	8月21日(金)～8月28日(金)	9月18日(金)	甲・乙
8月21日(金) 7月17日(金)	9月9日(水) 8月12日(水)	9月18日(金) 8月21日(金)	9月18日(金)～9月25日(金)	10月16日(金)	甲・乙
9月18日(金) 8月21日(金)	10月7日(水) 9月9日(水)	10月16日(金) 9月18日(金)	10月16日(金)～10月26日(月)	11月20日(金)	甲・乙
10月16日(金) 9月18日(金)	11月11日(水) 10月7日(水)	11月20日(金) 10月16日(金)	11月20日(金)～11月27日(金)	12月18日(金)	甲・乙
11月20日(金) 10月16日(金)	12月9日(水) 11月11日(水)	12月18日(金) 11月20日(金)	12月18日(金)～12月25日(金)	1月15日(金)	甲・乙
12月18日(金) 11月20日(金)	1月6日(水) 12月9日(水)	1月15日(金) 12月18日(金)	1月15日(金)～1月29日(金)	2月19日(金)	甲と、乙は指導教授が年 度末に退任する場合のみ
1月15日(金) 12月18日(金)	2月10日(水) 1月6日(水)	2月19日(金) 1月15日(金)	2月19日(金)～2月26日(金)*	3月19日(金)	甲と、乙は指導教授が年 度末に退任する場合のみ
2月19日(金) 1月15日(金)	3月10日(水) 2月10日(水)	3月19日(金) 2月19日(金)	3月19日(金)～3月26日(金)	4月の第3金曜日(未定)	甲・乙
申請者の出席	不要	不要	要	不要	

当年度  
↑学位授与

↓次年度  
学位授与

### (1) 甲

資格審査後に、学位審査料の振込先や公開発表会に関する連絡があります。

公開発表(スライド枚数制限なし、発表20分(上限)、質疑応答20分(上限))と第二次審査のための主査・副査のみの質疑応答20分(上限)、第二次審査を、上記の期間中の任意の1日に主査・副査全員と対面もしくはオンライン(Zoom)により実施するため、申請者において1時間の日程調整を主査・副査と行なっていただきます(場所やZoomアカウントは、日時決定後に学務課にて手配します)。

日程調整がつかなかった場合は学位授与内定が翌月以降へとずれ込むことになってしまいますが、\*の期間に主査・副査全員が揃わない場合は発表時間を5分以上とする個別の実施を認めます。

### (2) 乙

第一次審査(資格審査結果および論文の内容を勘案し、論文受理の可否を決定)後に、学位審査料の振込先や公開発表会に関する連絡があります。

公開発表会は第一次審査月翌月の医学研究科委員会の開催前に、原則として弥生記念講堂A会議室にて研究科委員等の前で学位論文に関するプレゼンテーションを行ないます(スライド5～10枚(タイトルは含まない)、発表5～10分、質疑応答5分(上限))。

第二次審査は公開発表会後、上記の期間中に審査委員3名と対面もしくはオンラインにより個別の面談審査を実施。

日程調整がつかなかった場合は、学位授与内定日が翌月以降へとずれ込むことになってしまいます。

※所属の指導教授が不在で「学位論文審査内規」第2条第2項第1号に基づいて代行指導教授を選任する場合や、乙の学外研究歴確認に時間を要する等の特殊なケースでは、資格審査等のために更に1～2ヶ月程度を要するため、余裕を持って申請してください。